



SQUARE スクウェア

季刊会報

第 90 号

2010年6月1日

Narashino International Association (NIA)

5月15日、習志野市国際交流協会総会で新会長に崎山征雄を選出

会長就任あいさつ 崎山征雄

「流れ星」とは地上100kmの大気中を飛んでいる直径1mmから1cm程度の微小物質です。燃え尽きず地上に届く程の大きさの隕石ではありません。流星物質として、秒速約70kmの速さ(ジャンボジェット機の250倍の速さ)で大気圏へ突入し、大気分子に衝突して一時的にプラズマとなり光を発します。そのプラズマの発生する光を「流れ星」といいます。そのような場所で宇宙にチャレンジしている方が、つい先日まで宇宙空間で仕事をしていた千葉県松戸市出身の「世界初ママさん宇宙飛行士」山崎直子さんです。まさに宇宙規模の人と人との出会い、宇宙交流ともいえます。

今や世界は一つ、1960年には30億人だった世界の人口が2009年には68億人へと爆発的に拡大した世界は、社会経済のグローバル化・ボーダレス化の進展に伴い、国と国、地域と地域、そして人ととの国際的な相互依存関係がより一層深まる中で、NGOやNPOによる身近なところからの国際活動への取り組みも活発に行われており、地域社会を取り巻く環境も大きく変化してきました。こうした中で、地域からどのように国際貢献をしたらよいかを模索しつつ、国境を越えた交流・協力を深めていくこと、また国籍や民族、文化の違いを理解し合い、認め合いながら外国籍市民とも共生できる地域社会づくりを進めることができます。

習志野市国際交流協会は、米国タスカルーサ市との出会いから始まり、姉妹都市提携以来、青少年交換事業を中心としたホストファミリーとの交流も深まっています。そして、来年度は提携25周年の節目の年となります。

さらに、国際交流の発展は、ラムサール条約登録地で野鳥の保護地となっている谷津干潟を抱える習志野市として、オーストラリアのブリスベン市とも交流を重ねています。そして、近隣各市の国際交流協会とも連携し、さらなる国際親善を深めることができることが今後の責務と考えます。

このような年に、これまで歴代会長のご指導のもと活発な活動を続けてきた習志野市国際交流協会の会長に就任し、大変緊張しています。どれだけのことができるか全く白紙ですが、任期中は皆様のご協力を頂きながら務めさせていただきたいものとお願い申しあげます。

退任にあたって 前会長 山田大三

平成16年から6年間、お世話になりました。「光陰矢の如し」のことわざのとおり、瞬く間の6年間でした。習志野市、会員の皆様など多くの方々のご支援で滞りなく任期を全うすることができましたことを衷心より感謝申し上げます。世界の若者への将来の希望を問う質問に対する、「将来は輝いている」「最高ではないが、まあまあよいほうである」という答えの割合から判断すると、日本の若者は非常に悲観的であることが分かる。という統計上の数字があるそうです。最近の若い世代を取り巻く環境の厳しさを思うと別に驚くにあたりませんが、それほど、日本の若い人々は未来に対する夢を失ってしまっています。青少年が国際交流を通じて、異文化に触れ、国際協調の精神を持って、成長することこそが、「輝いている将来の夢」を叶えることにつながると信じています。次世代を担う青少年のみなさんの活発な活動を願って、あらためてお礼を申し上げます。

平成 22 年度総会報告

= 事務局 =

平成 22 年度総会が 5 月 15 日サンロード津田沼 6 階の大会議室で開催されました。



総会では、平成 21 年度事業及び決算報告、続いて平成 22 年度事業計画及び予算が審議され、原案通り承認されました。また、新理事の選任と会則の一部改正も行われ、いずれも承認されました。

新役員の役名と氏名は下記の通りです。

役 名	氏 名	備考
会 長	崎山征雄	新任
副会長	吉村和就	再任
副会長	志村 豊	新任
理事（交流文化部会長）	吉田 武	再任
理事(日本語語学部会長)	田中芳恵	再任
理事（広報青年部会長）	高山進三郎	再任
理事（通訳部会長）	山口大二郎	再任
理 事	柴崎一雄	再任
理 事	金子和宏	再任
理 事	藤井謙逸	再任
理 事	藤平久志	新任
理 事(事務局長)	長谷川昭仁	新任
監 事	長安信明	新任
監 事	広瀬宏幸	新任

平成 22 年度の支出予算総額は 15,039 千円（前年度比約 2% 増）です。会則の一部変更は部会の統合と部会名の変更で、内容は下記の通りです。

新部会名	旧部会名
交流文化部会	交流・文化部会
日本語語学部会	日本語學習・語学研修部会
広報青年部会	青 少 年 部 会
通訳部会	広報・通訳部会
姉妹都市部会	姉妹都市部会

委員会委員長の役名と氏名は下記の通りです。

役 名	氏 名	備考
交流委員会委員長	吉田 武	再任
文化委員会委員長	日野陽子	再任
日本語學習委員会委員長	田中芳恵	再任
語学研修委員会委員長	西浦利清	再任
青年委員会委員長	高橋順子	再任
広報委員会委員長	高山進三郎	新任



本総会を以って退任されました理事・監事の皆様は下記の通りです。

氏 名	元 役 名
山田 大 三	会 長
本城 章次良	副会長
今井 洋 子	理 事
高橋 順 子	理 事
岡本 孝 夫	理事（事務局長）
藤田 彰	理 事
井上 定 則	監 事
広瀬 猛	監 事

これまで習志野市国際交流協会の発展にご尽力いただき、ありがとうございました。

平成22年度(2010年度)事業計画

月	事務局	姉妹都市部会	交流文化部会	
			交流委員会	文化委員会
4	21日(水)第1回 理事会	・青少年訪問団受入実行委員会 ・姉妹都市提携25周年記念 Student Tile Art Projectへの参加		
5	15日(土) 総会	・青少年訪問団受入実行委員会 ・俳句コンテスト受賞者発表	15日(土)会員の集い	世界の料理教室①
6	青少年訪問団受入	青少年訪問団受入	青少年訪問団受入	
7	市民祭り参加		市民祭り参加	文化セミナー
8	18日(水)第2回理事会			
9			ミニハイクバストツアー	文化講演会
10				世界の料理教室②
11	・第3回ふれあい祭 ・17日(水)第3回 理事会	・第3回ふれあい祭 ・俳句/絵画コンテスト参加依頼、準備	第3回ふれあい祭	第3回ふれあい祭
12				
1		俳句/絵画コンテスト応募締切 (1月末)		世界の料理教室③
2	16日(水) 第4回理事会	俳句/絵画を姉妹都市へ送る		
3				

月	広報青年部会		日本語語学部会		通訳部会
	広報委員会	青年委員会	日本語委員会	語学委員会	
4	・編集会議 ・HP更新	定例会(月1回)	・日本語教室(通年開催) 初級：月・水・木 中級：月・水 漢字教室：火 小中学生：土 ・世話人会	初級韓国語・中国語・英語講座受講生決定	チャットdeALT(通年開催) 毎週月曜午後4時～5時
5	HP更新	定例会	・スピーチ茶話会 ・世話人会	春期講座	
6	・編集会議・HP更新 ・スクウェア第90号発行	・青少年訪問団受入 ・定例会	・あすなろ会 ・世話人会	春期講座	青少年訪問団受入
7	・編集会議 ・HP更新	定例会	・七夕祭り ・市民祭り参加 ・世話人会	春期講座	
8	HP更新	定例会			
9	・編集会議 ・HP更新 ・スクウェア第91号発行	定例会	・講師親睦会 ・世話人会 ・日本語ボランティア養成講座	秋期講座	
10	・編集会議 ・HP更新	・ハロウィンパーティー ・定例会	・世話人会 ・日本語ボランティア養成講座	秋期講座	
11	・第3回ふれあい祭 ・「みんなでまちづくり」 ・HP更新	・第3回ふれあい祭 ・定例会	・第3回ふれあい祭 ・あすなろ会 ・世話人会 ・講師研修会 ・日本語ボランティア養成講座	・第3回ふれあい祭 ・秋期講座	第3回ふれあい祭
12	・編集会議 ・HP更新 ・スクウェア第92号発行	・クリスマス会 ・定例会	日本語ボランティア養成講座		
1	・編集会議 ・HP更新	定例会	・新年茶話会 ・世話人会	冬期講座	
2	HP更新	定例会	世話人会	冬期講座	
3	・編集会議・HP更新 ・スクウェア第93号発行	定例会	世話人会	冬期講座	

日本語学習の仲間たち

=日本語学習委員会=

こんにちは。私たち日本語学習の仲間を紹介します。みんな習志野市や近くの市に住んでいたり、働いていたり、学校に通っている人たちです。いろいろな国の人たちが、日本で仲良く暮らしていけるように、日本語を学習しています。大人は月曜・火曜・水曜・木曜に、小学生と中学生は土曜日に学習をしています。1週間に1回、1時間半の学習ですが、日本語だけでなく、日本の文化や習慣にもふれています。日本語学習支援はマンツーマンですので、知りたいことを知りたい人に直接伝えることができます。日本のこと日本人のことを良く知つてもらい、彼らの国の人たちに、正しく友好的に伝えてもらえるように願って活動しています。今回は大人の仲間を紹介します。たくさん的人がいますので、よく見ると知っている顔が見つかるかも・・・。

月曜日学習の仲間



月曜日（中級）学習の仲間



木曜日学習の仲間



水曜日学習の仲間



火曜日漢字学習の仲間



平成22年度日本語ボランティア養成講座 開講のおしらせ

期間：8月26日～12月16日（除く9/23）の
毎週木曜日 全16回（計48時間）

時間：9：30～12：30（3時間）

会場：京成津田沼駅サンロード6階 大会議室

受講料：13,000円

他にテキスト代9,450円

対象者：当協会に加入し、養成講座終了後
ボランティア講師として活動できる方

定員：25名

講師：松本明子先生（元 城西大学講師）

申込み：習志野市国際交流協会事務局

申込み用紙を用意してあります。

締切：7月3日（土）

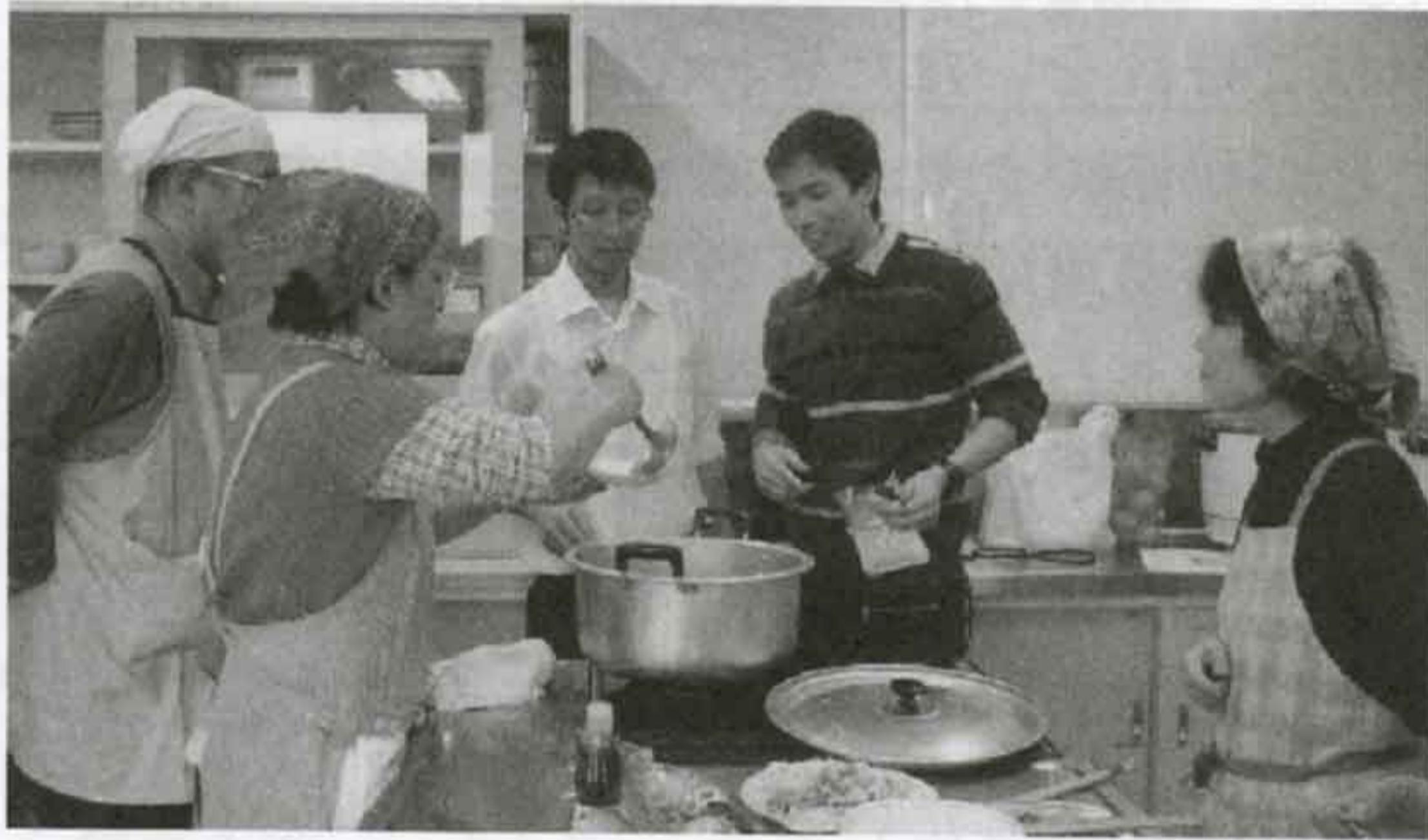
あなたも仲間に
はいりませんか！！！

文化委員会の活動報告

=文化委員会=

毎回ご好評を頂戴しています「世界の家庭料理」第38回は、当協会会員のカルメン・モレノ・カンテロさんにお願いして、スペインの家庭料理を教えて頂きました。この料理教室は、習志野市在住の外国の方々にお願いして、その国の伝統的な家庭料理を紹介しています。

平成21年度は、中国の男性の方、ブラジルのご夫妻、ベトナムの留学中の青年2人に講師をお願いしました。いずれの料理も参加された皆さんのが自宅で実際に作ってみたいと思うものばかりでした。今年度も楽しく、役に立つ料理教室を企画したいと思っています。



(ベトナム料理を指導するナムさん(中央)とダオさん)

年1回開催している今年度の「文化セミナー」は、7月に「折り紙教室」を実施します。「広報習志野」で募集致しますので是非ご参加ください。そして、秋には「文化講演会」を予定しています。



(昨年7月開催した青木一郎能楽師の講演会)

こんなお話を聞きたい、見たい、習いたいなどご希望がありましたら、文化委員会までお寄せください。そして大勢の皆様のご参加をお待ちしています。

交流委員会の一年をふりかえって

=交流委員会=

昨年度の交流委員会は、総会直後の「会員の集い」を皮切りに、計画した年間イベント全てを実施してきました。

総会後は、「7月の市民祭り」参加です。特に祭りの中心的行事であるサンバパレードには、当協会はチームを結成して参加しました。熱い中、市役所まで1キロほどを幼稚園児から大人まで行進しますが、外国人が参加する我NIAチームは、ひときわ注目の的で、カメラのフラッシュを浴びていました。

暑い夏が終った初秋の9月には恒例のミニバスハイクを実施しました。行き先は開港150周年で賑わう横浜です。横浜港クルージングや中華街での食事、名園三渓園、アクアライン経由の帰路どれも皆楽しそうでした。ちょっとバスが小さかったので、今年は大きいバスを検討中です。

さて、秋が過ぎてから最大のイベントは、当協会の「ふれあい祭」です。平成22年2月の開催に向けて、各部会提出の多彩な計画が実行委員会で何度も検討されました。そして、2月13日、「ふれあい祭」は盛大に開催されました。寒い悪天候にもかかわらず304名の方が来られました。荒木市長もご来場され、最後はベリーダンスに興奮し、あっという間に過ぎた一日でした。



(荒木市長も引っ張り出されて手品に参加)

国際交流は、国と国の交流が原点ですが、交流が深まるにつれ、それぞれの国の人と人の交流へ変化していくのが大きな特徴です。残念ながら国際交流は一般の方にはまだ日常的ではありません。交流委員会では、今年はさらに会員の皆様や在住外国人とのふれあいを増やし、情報を多く発信し、NIAを多くの方に知ってもらい、国際交流活動の普及に貢献すべく活動していきたいと考えております。

平成 21 年度を振り返って

=青少年部会=

青少年部会では、例年同様、「定例会」を実施し、6月には部会員同士のボウリング大会を開催して親睦を深めました。10月のハロウィンでは、他の部会の方と交流し、12月には、恒例のクリスマス会を催しました。そして2月のふれあい祭では、青少年部会は「福引」を担当しました。



(左から吉田さん、陳さん、マリアンさん、高橋さん、細根さん)

そして、今年の5月からは、青少年部会が広報委員会と一緒に、「広報青年部会」として、新たに活動することになりました。課題が多いですが、広報の方のお知恵を借りながら頑張っていきますので、よろしくお願ひします。

6月には、タスカルーサの高校生とスポーツ交流をする予定です。興味のある方は、気軽に参加して下さい。

あなたはどっちのサンバがお好き？

「習志野市民祭りきらっと」には、毎年恒例のサンバパレードに多くの団体が参加し、コンテストもあり専門のダンス振付師の指導による本格的なダンスとなっていることはご存じでしょう。

暑いさなかに踊るのは、なかなかの重労働です。そこで登場したのが、「ニューサンバ」（通称）と呼ばれるものです。正式名は、「シニアらくらくサンバ」です。もうお分かりかと思いますが正調サンバを踊るにはきつくなつた方、あるいはお子さんやご婦人方にも踊りやすくしたバージョンなのです。

振り付けは正調と同じくプロの先生がしておりますが、ひとつ残念なことがあります。それは本番の市民祭りに参加はできるのですが、コンテストの対象に「シニアらくらくサンバ」は入れてもらえない

昨年度の語学研修講座を終えて

=語学研修委員会=

昨年度の語学研修講座は、昨年5月から始まり、年間3学期、計30回の英語、韓国語、中国語の各講座とも3月で終了しました。最後まで受講されました方は、英語10名、韓国語13名、中国語13名でした。長期間にわたり努力され、終了された皆様おめでとうございます。今後もいろいろなかたちで、各語学の研鑽に励まれますよう期待しています。

ところで、語学研修委員会では、講座を終了された皆様に語学講座に関するアンケートをお願いしました。この趣旨は皆様のご感想やご意見を次回以降の講座に反映させたいためです。

アンケートのご回答を拝見しますと、3講座とも概ねご好評をいただき、受講前に期待されていたことが研修できたようです。なかには続いてそれぞれの中級講座をご希望される方も数人おられました。残念ながら当協会では中級講座を開催していませんが、将来的には開講できるよう検討していきます。また3講座以外にも、ドイツ語やスペイン語講座のご要望がありましたが、これも今後の検討課題としたいと思います。

講座終了近くの2月13日、当協会において行われた「ふれあい祭」では、各グループに研修中の言語で歌を歌っていただくようお願いし、快く引き受けいただきました。各グループとも何度も練習されたようで、その成果は当日いかんなく発揮されました。グループの皆様がともに協力したことによって、楽しく学べ、また語学についても自信がついたというご意見もありました。

5月からは今年度の講座が開講されます。受講されます皆様が、最後まで受講できますようにサポートし、また楽しく受講されますことを期待いたします。

ということです。ところでシニアサンバのシニアは何歳からか決まっておりません。

今年ももうすぐサンバの季節がやってきます。さて、あなたはどっちのサンバで踊りますか？

7月18日のサンバパレードに参加するダンサーと支援スタッフを募集しています。=交流委員会=

これが私たち通訳部会の活動です。

=通訳部会=

習志野市には約3,300人の外国人が居住しています。生活に必要な最低の情報は、行政配布文書で理解して頂かなければなりません。通訳部会は市の依頼を受けて文書の英語・中国語・韓国語の翻訳を手分けして行っています。これからは納税・国民健康保険・子供手当などについて、日本語の問題で手続きに困難をきたしている方に対し、行政窓口との間に入って通訳する機会が増えるものと思われます。

毎週月曜の4時より協会事務局でALT(英語指導助手)と英語で話す「チャット de ALT」を開いています。常時10名程の方が参加され活発な会話を楽しんでいます。他に2ヶ月ごとにフライデイサロンを開催し、協会会員と地域外国人との交流を図り、毎回大変な盛り上がりを見せています。

昨年10月、イギリスよりU3A(The University of 3rd Ages)の9名が市民と交流を図りたいと来訪されました。メンバーは退職後自ら体験した経験や知識、技能を互いに教え合い、学びあう生涯学習活動をされている方々です。市の広報で国際交流希望者を公募し、80名の市民が参加され、3時間にわたって楽しい時間を共有することができました。

祝・歓迎 タスカルーサ市青少年訪問団！！

=青少年受入事業推進協議会=

隔年ごとに習志野市を訪れるタスカルーサ市青少年訪問団、今回は男子生徒6名と女子生徒6名に引率者2名の計14名です。引率者はタスカルーサ市姉妹都市委員会の専務理事のリサ・キーズさんと学校側からはキャシィ・ギャスコイン先生です。



(前回のタスカルーサ市青少年訪問団歓迎Party)

今年の予定は、6月10日(木)に到着し、夕刻には生徒全員がホスト・ファミリーと対面、帰国は21日(月)となります。その間、市長・議長・教育長を表敬訪問し、バラ園・ららぽーと・東京見学・皇居・お台場・横浜港・中華街・三渙園・海ほたる・相撲部屋などを見学し、富士山麓でミニハイクもします。

2月には「第2回ふれあい祭り」に参加。ベリーダンス教室の方12名に参加をお願いしました。エキゾチックな音楽に合わせて魅惑のダンスが次々と披露され、祭りのフィナーレを飾ることができました。



6月10日には姉妹都市タスカルーサ市より高校生、引率者を含め14名が11日間滞在します。昨年事業推進協議会を立ち上げて、準備を重ねてまいりました。まずホストファミリーになって頂く方の募集と滞在中の日程の準備です。彼らから厳選されたメンバーのプロフィールと日本で何がしたいのかと云う小作文が送られてきました。こちらで作成した計画書に従い、彼らを受け入れる準備をしています。

今後とも 通訳、翻訳を通して、習志野市在住の外国人や国際交流のために役に立つよう活動してまいります。

習志野高校では一日中、高校生同士が交流の輪を広げます。千葉工業大学では日本の文化となったロボットについて学びます。また外国籍の従業員や研修員が働いている東洋エンジニアリングではディスカッションをしていただきます。今回初めての試みですが、習志野市の青少年とタスカルーサ市の高校生のディスカッションを計画に入れました。

彼らのprofileを見ますと今回の習志野市訪問の目的は、異文化に触れたい・生活様式を学びたい・日本の言語に触れたい・習志野市の青少年と友達になりたい・日本の高校生が何を目標にして学生生活を送っているのか・世界中の学生が国際交流を図っているように自分もこのプログラムに参加したい。日本の食べ物・宗教・家族・教育システムなど知りたい。これまで日本文化を高く評価し尊重してきたが、日本人とその習慣をもっと知りたいなどが書かれています。彼らの青少年交流プログラムの目標や意識の高さを感じさせる内容のProfileでした。

両国の青少年が異文化に触れ、国際協調・理解の精神を養うことは、ひいては世界平和を尊重し、未来の国際社会のリーダーとして活躍されることでしょう。こうした観点からもこのプログラムの相互交流が是非とも継続されることを願って止みません。

Condolences 哀悼

=姉妹都市部会=



Condolences

どなたかお分かりになりますか？
姉妹都市、タスカルーサ市の前市長の奥様
Mrs. Margaret DuPont です。Former Mayor
Alvin DuPont, は習志野市民の多くの方にとっ
ては馴染（なじ）み深い方だと思います。彼の
市長としての任期は 1981 年から 2005 年までで
した。24 年間という長期にわたっての任期で
したが、婦人は常にその陰で内助の功をつくし

てきました。

第 2 次世界大戦中にイタリアで Mr. DuPont
は負傷し、タスカルーサ市の病院（現在のアラ
バマ大学の University Mall の建っている付近
に当時は病院がありました。）へ送られました。
その病院で Susie Margaret は看護婦として働
いていたのです。二人はアラバマ大学の
University Club (MM Tour に参加された皆さん
が昼食をとったあの Club です。) で会い、
Alvin DuPont が 20 歳、Susie は 23 歳の時に結
婚しました。21 歳以下だった彼は両親から結
婚許可証のサインをもらわねばなりませんでし
た。それから 64 年の年月が経ちました。

残念ながら今日はさみしいお知らせを書かね
ばなりません。Mrs. Margaret DuPont は長い
闘病生活の末、今年の 3 月 21 日享年 87 歳で亡
くなりました。

ここに謹んで皆様にお知らせし、ご冥福をお
祈り致します。

お知らせ

タスカルーサ市高校生訪問団歓迎パーティーのご案
内です。メモしておいてください。

Save the Date!

June 12 (Sat.) 2010

Welcome party for the Delegation
場所：サンロードビル 6F 大会議室
時間：午前 11 時から 12 時 30 分まで。
どなたでも参加できます、是非いらして
ください。（受付は 10 時 30 分から）

求む部会員！

当協会では、年間を通して様々な行事や活動を行
っています。現在、部会によっては部会員の数が少
なく、部会長・委員長に負担がのしかかっています。
お手伝いいただける部会員の募集をしています。ご
協力いただけます方は事務局までご連絡ください。

事務局職員の人事異動紹介

4月1日付で事務局長が替わりました。
新事務局長は長谷川昭仁です。
よろしくお願ひ申しあげます

市役所駐車場利用について

会員の皆さんのが協会活動で市役所駐車場（市役所
第 3 分室前駐車場）を利用する場合は、3 時間まで
無料となります。無料手続きには、事務局での検印
が必要ですので、駐車場を利用した際は、駐車券を
事務局に提示してください。

検印のない場合は有料となりますので、ご注意く
ださい。

編集後記

会員・編集員など皆様のご協力で、何とか 90 号
の編集発行ができました。ありがとうございました。

スクウェア 第 90 号

2010 年 6 月 1 日

発行 習志野市国際交流協会 事務局

〒275-0016

千葉県習志野市津田沼 5-12-12

サンロード津田沼 4F

TEL 047-452-2650

<http://www.nia@seaple.ne.jp>

<E メール> nia@seaple.ne.jp